

江差町立南が丘小学校



かけはし

【本年度の重点目標】

『学び合い高め合う子どもの育成』

〔笑顔!〕〔習慣!〕〔学び合い!〕

TEL0139-52-0524 FAX0139-52-5489

本当の世界に学ぶ

校長 白川 清久

夏休み前の全校集会でヤマメの話をした。餌を求めて海へ出た小さなヤマメが大きなサクラマスになって帰ってくる。夏休み後の全校集会では大きな事故やケガもなく終わったことを喜び、その後にアユの話をした。一年で命を終えてしまうアユは餌を求めて海に出るのではなく、川の中でも生き残ることができるように、餌を虫ではなくコケに変えた。虫はいろいろな魚がねらうが、コケなら競争相手が減る。

自然の不思議は知りたいと思った人には、たくさんの世界を見せてくれたり教えてくれたりする。本当の世界で起きていることは実におもしろい。そして、本来そのおもしろさに目を見張り、夢中になることができるのが子どもの感性のはずである。

レイチェル・カーソンという科学者が書いた「センスオブワンダー」の一節。

「子どもたちの世界は、いつも生き生きとして新鮮で美しく、驚きと感激にみちあふれています。残念なことに、わたしたちの多くは大人になるまえに澄みきった洞察力や、美しいもの、畏敬すべきものへの直感力をにぶらせ、あるときはまったく失ってしまいます。」

忙しい日常、なかなか時間がないのもよくわかるけれど、子どもの目を「デジタル画面」から離し、本当の世界を見る機会を少しでも作ってあげてほしい。

今年も祭りに参加した。新聞の地方版に疲れた表情と重い足取りの自分が載ってしまったのは残念だった。暑さで参りそうになったが、去年の雨に比べたらずっといい。切れ目ない祭り囃子の中、大人も子どもも一緒になって練り歩き、気を吐き、エンヤと踏ん張る。その繰り返しが疲れを超えた心地よさに変わる。

祭り囃子の練習に費やされるであろう子どもたちの日々を想像した。熟達者からの技の伝承は、子どもたちにとって「真似る」という学びの基本である。正確になぞることができて初めて周りからも認められる。しかし、できなくてもいじめられたり、外されたりすることはないと言う。何度も繰り返され、その子の上達の度合いに合わせて教える側も変わるらしい。祭りに出てみると、地域の中で子どもが活着している実感をもつ。大人が子どもにかかわり、手を差し伸べるたくさんの営みが背景にあるからなのだろう。

祭りからパワーをもらい、子どもたちのエネルギーの余韻を感じながら夏は終盤を迎える。夏休みが終わり学校生活が始まった。わかる・できる楽しさ、考えるおもしろさ、人と共にいる居心地のよさを感じ、学校が楽しい「たば風南小の子」であり続けてほしい。



夏休みの自由研究・作品展より

夏休みに取り組んだ自由研究や工作が、教室前やホールに展示されています。夏休み明け、まだ蒸し暑さが残る中、教室で自分の作品を紹介していました。写真は1年生の発表場面です。頑張ったことや材料のこと等を分かりやすく、みんなに伝えていました。どうやって動かすのかなと、みんなは興味津々に聞き入っていました。

ホールや廊下には、学年ごとに子どもたちの力作がたくさん展示されています。来校された際には、是非ご覧ください。



作品名「ロボット」
1年 若山 慶汰

学級園～収穫が楽しみ！



学級園を使って、各学年が、栽培活動を行っています。理科や生活科、総合的な学習の時間等の学習の一環です。ミニトマトやとうもろこしの種やサツマイモなどの苗を植えてから、発芽や成長の様子を観察したり、草むしりの世話をしたり、理科の実験に使ったりと様々な学習に活用してきました。これからは、楽しみにしている「収穫」の時期になっていきます。

収穫するタイミングもあるようですが、収穫後は、調理実習の計画を立てたり、収穫祭を計画したりと自分たちで育てたものを味わうのが楽しみなようです。

漢字検定～昇級チャレンジ！

8月21日（金）に南が丘小学校を会場に、漢字検定を行いました。「はじめ」の合図とともに、鉛筆で書いていく音が教室に響きました。「おれ・とめ・はらい」や字の大きさ、枠の中にしっかり書くことを意識して、みんな漢字検定を頑張っていました。

今回は15名の参加がありました。最上級の4級に挑戦したのは、6年大口菜奈さんでした。合格通知は9月下旬に届く予定です。受検者の皆さんの合格を願っています。

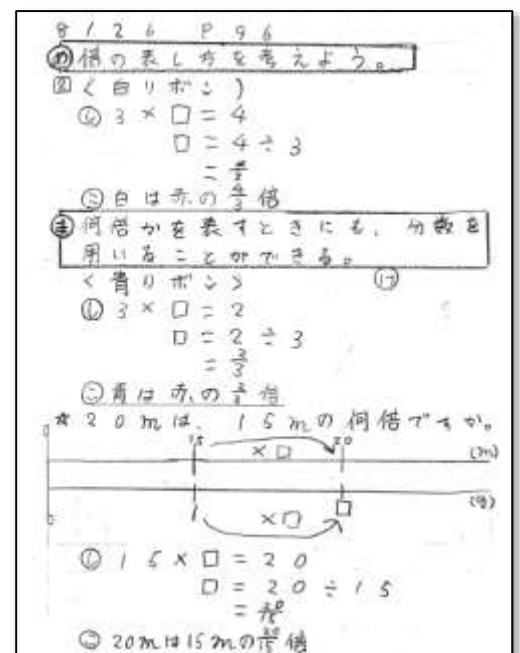


「教えて考えさせる」授業を公開

8月26日（水）に永井先生と大山先生の5年生の算数の授業を先生方が参観し、よりよい授業のあり方について研修しました。

右のノート図にあるように、「①掛け算を使う。②割り切れない答えは分数を使う。③比べるときは、数直線を使う。」ことを教え、そのことを使って、さらに難しい問題を考えさせました。考えるときは、「①1人②ペア③みんなで」と互いに教え合う場面も作りながら授業を進めました。

振り返りでは、「もとにする数によって、倍を表す数が1より大きい時と小さい時がある。小数や整数で表せないときには、分数を使えばよいということが分かった。」と理解したことをノートにまとめました。日常の実践をこれからも充実させていきます。



檜山PTA連合会 研究大会・母親研修会

8月23日（日）に、瀬棚中学校を会場に、檜山PTA連合会の研究大会と母親研修会が行われました。研究大会では、「望ましい社会と教育環境」のテーマで、学年レクや広報誌『あすなろ』のことなど本校PTAの取組を発表してきました。参加された各学校の様子も聞くことができ、大変有意義な時間でした。提言発表をされました佐久間昌美さん、司会を担当されました西村則子さん、ありがとうございました。

母親研修では、星澤幸子氏による「食は夢の架けはし」と題された講演会が行われました。米や豆、日本食等をキーワードに「日本の食物」、「噛めよ噛め!」、「免疫力アップ作戦!」等の話があり、食の大切さを改めて感じました。残暑の残る一日ではありましたが、参加されました19名の皆様、ありがとうございました。

※下記の「どさんこアウトメディアプロジェクト」については、檜山PTA連合会研究大会せたな大会の閉会式で紹介がありました。会員の皆様、参加してみませんか。詳しくは後日ご案内いたします。



北海道PTA連合会 第3ブロック連絡会兼地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

「どさんこアウトメディアプロジェクト」普及フォーラム

- | | | |
|-------|--|--------------------------|
| 1 期 日 | 平成27年10月10日（土） | 13時40分～16時（受付は、13時10分より） |
| 2 会 場 | 七飯町文化センター | |
| 3 主 催 | 北海道PTA連合会 北海道子どもの生活習慣づくり実行委員会
渡島PTA連合会 檜山PTA連合会 函館市PTA連合会 | |
| 4 内 容 | ●北海道PTA連合会活動報告 … 北海道PTA連合会事務局
●講演会 | |

講 師 旭川赤十字病院 第一小児科部長 諏訪 清隆 氏
演 題 「ネット利用も含めた望ましい生活習慣の定着に向けて
～ 今、子どもたちのために何をすべきか～

「特別の教科 道徳」～その1

「いじめ問題等への対応について」を大きなテーマとして、道徳教育の改善・充実の方策が、国として検討されてきました。そこに「子どもの命の尊さを知り、自己肯定感を高め、他者への思いやり、規範意識、自主性や責任感などの人間性・社会性を育むよう、国は、道徳教育を充実する。」と示されています。

平成25年に提言が出され、国として検討を十分に加えてきています。「特別の教科 道徳」への移行を踏まえ、学校としても道徳教育の充実に努めています。

これからの道徳教育に求められることは、
○見方や立場によって答えが一つではない課題に自分の問題として考え、真剣に議論すること。

○自立した人間として他者と共によりよく生きようとする道徳心を育むこと。

を発達段階を踏まえて進めていくことです。本校でも参観日のときに、道徳の時間の様子を見ていただきましたが、今後も道徳の時間を中心に心の教育の充実を努めます。